

夏秋なすのカメムシ類の防除

令和7年5月

栃木県農政部経営技術課

1 なすを加害するカメムシ類

カメムシ類の写真					
種類	チャバネアオカメムシ	クサギカメムシ	カスミカメ類	ミナミアオカメムシ	アオクサカメムシ
体長	10mm程度	13~18mm	4~6mm	12~15mm	12~15mm
主な寄生植物	・植物の結実状況に応じて非常に多くの種類の寄生植物を移動する。 ・種によって異なり、ナス科などの野菜類のほか、マメ科、イネ科、果樹類、スキ、ヒノキなどに寄生する。				
加害部位	茎葉、果実	茎葉、果実	茎葉(新葉)	茎葉、果実	茎葉、果実

2 カメムシによる被害状況

果 実	茎 葉
 	 
・吸汁部位のくぼみ、表面の凹凸 ・匂いによる品質低下	・不規則な孔や奇形葉の発生 ・加害部から先のしおれ ・茎葉の伸長停止

3 防除対策

- 被害症状の早期発見に努め、早期に薬剤防除を実施する。
- ソルゴーや防虫ネットを活用し、障壁を設置して侵入を防止する。
- 葉裏に卵塊で産卵し、若齢幼虫は集団で加害するため、葉ごと取り除き、葉裏まで丁寧に薬剤を散布する。
- ほ場周辺のイネ科やマメ科の作物や雑草(ヨモギなど)からほ場へ侵入するため、除草作業を徹底する。
- 薬剤抵抗性の発達を防ぐため同一系統、同一 RAC コードの連用を避ける。